

問題解決とデータの活用

～問題の発見と解決策の検討

情報 I 第51回授業

07情報通信ネットワークとデータベース

対応データ 23exp51.xls

問題解決とデータの活用

- オープンデータを活用して問題を発見しその原因を考える
 - 総務省統計局「社会生活基本調査」を活用すると良い
 - お勧めは「調査票A」の「主要統計表」
 - その他のデータも参照可
 - 出典を必ず正しく明記すること
- 「問題の原因」「原因と思われる内容」「解決への道筋」については、必ず 合計2つ以上の根拠データを示すこと。
- グラフ・統計処理・相関・統計的仮説検定等を必ず用いること。
- PowerPointスライド5枚で完結させる。

スライドの構成例

1. 表紙(タイトル)
2. 問題提起(データ提示)
3. 原因と思われる根拠1(データ提示)
4. 原因と思われる根拠2(データ・相関・仮説検定提示)
5. 解決に向けての考え、アイデア、結論

授業の進め方

- 個人作業で行います。
- 本日も、次回が作業時間です。
- その後の授業で、発表を行い、評価改善を行います。